

極東開発工業 特装車の稼働状況を記録・蓄積する IoT 基盤を利用したサービス支援システム「K-DaSS」を開発 ～「つながる特装車(コネクティッドSPV)」に向けた取り組みを加速～

極東開発工業株式会社(本社:兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長:高橋 和也 特装車事業、環境事業、パーキング事業)は、特装車の稼働状況を記録・蓄積するIoT基盤を利用したサービス支援システム「K-DaSS (※1)」を開発しました。

今回、「K-DaSS」の構成要素の一つである「サービスツールシステム」を正式リリースします。

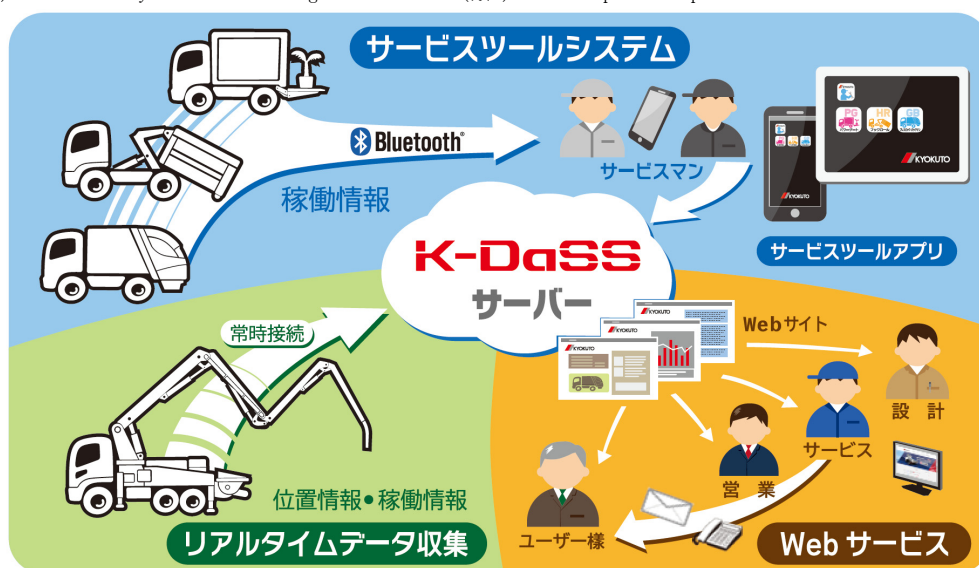
「サービスツールシステム」では、当社および契約サービスステーションのサービスマンが、新開発の専用スマートフォン用アプリにより近距離無線通信機能を搭載した車両と通信することで、車両メンテナンスやデータ収集を行います。これにより、車両の状態をより正確に把握し、お客様に適切なメンテナンスをご提案することが可能となります。

「K-DaSS」は、「サービスツールシステム」のほか、「リアルタイムデータ収集」・「WEBサービス」の要素から構成されるシステムです。

今後は、今回リリースを行う「サービスツールシステム」の本格的な稼働に加え、現在実証試験を進めている「リアルタイムデータ収集」・「WEBサービス」に関しても実用化を目指し、システム全体の構築を進めるほか、順次各製品への展開とシステムのアップデートも行うことにより、お客様へより一層の利便性のご提供と更にフレキシブルなサービス体制の強化を図ります。

極東開発グループでは、「K-DaSS」の構築および展開を通じて、「つながる特装車(コネクティッドSPV (※2))」に向けた取り組みを加速してまいります。

(※1) K-DaSS : Kyokuto Data Sharing Service (※2) SPV : Special Purpose Vehicle



「K-DaSS」システム概要

「サービスツールシステム」の特徴

1. 当社が専用開発したスマートフォン用アプリ「サービスツールアプリ」にて近距離無線通信機能を搭載した車両と通信することで、車両メンテナンスやデータの収集が可能。
(※アプリは、当社サービス員、契約サービスステーション等にて使用します。)
2. サービスツールシステム対応機種
 - ・テールゲートリフタ「パワーゲート® G型(後部格納式) / CG型(床下格納式)」
 - ・脱着ボデー車「ハイパースイング・フックロール®」
 - ・ごみ収集車 プレス式「プレスパック®」 / 回転板式「パックマン®」
3. アプリのリリース時期 : 2019年2月 予定

《ご参考》

「サービスツールシステム」では、車両の作業場所や走行ルートを特定する位置情報は取得できません。

＜広報お問合せ先＞
極東開発工業株式会社 総務部 総務課
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号
電話 (0798) 66-1000 F A X (0798) 66-8156
ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>